



小学生が議会を傍聴

3月定例会に、園部小学校の6年生児童2クラス64名が訪れ、議会を傍聴しました。当日は各議員の一般質問の日程で、身近な質問も出され、議員と市長の問答を真剣なまなざしで聞き入っていました。



人事案件

次の方々の選任について同意しました。

(敬称略)

◇教育委員会委員

武田 義史

(美山町長谷)

◇公平委員会委員

箱田 博治

(美山町福居)

◇固定資産評価

審査委員会委員

上段源 一郎

(日吉町田原)

吉田 史樹

(園部町若松町)

白井 八郎

(八木町池ノ内)

上田 武司

(美山町静原)

八木支所



活線クラブ 川勝 儀昭 議員

国、府との連携強化により、財政力の向上を

市長 さらなる連携強化に努める

合併後3年間で、基金は大幅に減少し、財政難の南丹市となった。その結果、公共工事の減少や進捗の遅れ、福祉施策の削減、住民サービスの低下等々、市民に負担と迷惑をかけているのは事実である。市長自ら政治的判断を捨て、住民のために、一層の国との連携強化が必要と考えるが市長の所見を伺う。

臨時交付金の有効的活用を
国より本市に約5億3千万円の臨時交付金が交付された。基金の積み立てや21年度事業の前倒し実施に活用されるようであるが、この内5千5百万円は20年度当初予算事業に充当されている。公共事業発注の減少にも伴い、南丹市建設業協会の会員数は3年間

で61社も減少している。緊急的な景気雇用対策を目的とするこの臨時交付金を当初予算事業に充当せず、有効活用が必要と考えるが、市長の所見を伺う。

は半減された。各参与が支所長として重要な役割を担っている。本年12月末に参与の任期切れとなるが、以後の組織体制について市長の所見を伺う。

雪害による倒木被害



丹政クラブ 外田 誠 議員

防災対策として支障木の伐採を

市長 支障木の撤去については、国・府にも要望を

1月上旬の大雪により、美山地域では大きな被害が発生したが、被害状況はどうか。また、行政主導で道路等の支障木の撤去伐採が必要と考えるが。

国・府にも要望をおこないつつ検討していきたい。

有機農業の推進により、安心安全な農産物の生産、流通拡大につなげたい。

ない。しかし、次年度以降採用試験の時期等に検討を加え、良い人材が確保できる方策を考えていきたい。また、年度末でもあり、追加募集は考えていない。

本町土地区画整理事業



活線クラブ 松尾 武治 議員

具体策が見えない佐々木施政

市長 区画整理事業の完成が活性化に繋がる

都市再生機能が乏しい本町土地区画整理事業で歴史的な風情が消えた。

の整備、一体的なまちづくり、地域の活性化策なども遅れているが市長の見解を問う。

受注生産を理由に競争性を弱めるものではないと説明しているが、メーカー間ではこの段階で競争性が阻害されるといわれている。予定価格が公表される1社入札で高落札(本市の落札率99・67%)となった。

の効果を求める」となっている。